

第35期第12回理事会議事録

日 時：2010年5月23日（日）18時30分～20時10分

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
（センター棟409）

出席者：新野、藤谷、石田、岩崎、里村、田中（博）、
中島、中村、中本、藤部、石原、伊藤、
佐々木、里田、鈴木、田中（省）、牧原、
三上、安成、山崎、余田、以上21名
（理事現在数27名）

欠席者：近藤（裕）、近藤（豊）、佐藤、赤枝、住、
津田、以上6名

その他の出席者：羽鳥（大会委員長）、隈（大会実行
委員長）、佐藤（大会実行委員会事務局長）、
鈴木、田沢（事務局）

議 題

議事に先立ち新野理事長より春季大会を担当した気
象庁及び東京管区气象台に対して感謝の意が表明され
た。

1. 2010年度総会について

総会の進行及び参加票の意見について確認した。

また、参加票の意見にあった会員数の減少への対策
について議論した。

2. 2010年度秋季大会、2011年度春季大会の準備状況 及び今後の担当機関について

標記に関して準備状況を確認し、2013年度春季大
会の担当機関が東京大学大気海洋研究所であることを
確認した。

3. 各支部からの報告

北海道支部から6月と12月に研究発表会を、7月
に気象講座を開催すること、6月に総会を開催する

ことが報告された。

東北支部から支部理事が決まり、6月に理事会を
開催予定であることが報告された。

中部支部から公開講演会、研究会について報告が
あった。また、経費削減に関連して支部のサーバに
ついて検討した。

関西支部より秋季大会の準備について順調である
ことが報告された。

九州支部より6月に理事会を開催することが報告
された。また、サイエンスカフェで台風や大雨につ
いてのリクエストが多いことが報告された。

4. その他

(1) 地球惑星科学連合大会と春季大会の日程の重なり
について

表記について、春季大会の日程をどのようにす
るのがよいか議論した。

(2) 日本学術会議の大型施設計画・大規模研究計画
について

表記について提言が発表されたことが報告され
た。今後、再度アンケートがあるので協力してほ
しいとの意見があった。

(3) 古い気象研究ノートの電子化について

表記について議論した。

平成22年6月23日

社団法人日本気象学会

議 長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 石田 純一